

さんさん 燦燦ニュースレター

新しい役員体制が決定しました

今年はコロナ騒ぎに伴い、4月の総会は書面総会としメールによる投票をお願いすることになりました。その結果会則の改定をご了解いただき、新しい役員の出選方法が決まりました。

改定された会則第8条で、「会長、副会長と事務局長の選任は役員等による互選」となっており、「役員等、に関しては、事前に同条にある「会長、副会長と事務局長が協議の上選任する」に基づいて選任されました。しかし、会長、副会長、副会長代理、事務局長及び事務局長代理は新しい執行部に向けての暫定であったため、改めて役員互選により正式な執行部が決定されることになりました。

そこで、10月からの新しい役員体制とするために21名の役員の皆様に会長、副会長と事務局長の互選をお願いした結果、下記のごとく決まり、9月25日に開催されたZoom会議による委員会で承認されましたのでお知らせします。

上智大学金祝燦燦会 2020年度役員（任期：2020年10月1日～2021年6月30日）

会長	濱口吉右衛門	60 経経	顧問	サリ・アガスティン	上智大学教授 上智学院総務担当理事
会長代理	石川雅弥	65 外英		山田知子	79 文国
副会長	畔柳文雄	68 理物		青柳敬子	80 外西
事務局長	鈴木眞	66 理電		金谷春美	03 外葡
事務局長代理	小川元	67 外露	<p>お願い： 会計をはじめ、それぞれの実務チームの運営・管理は、上記に記された役員の方々を中心に遂行されますが、一般会員の方々も積極的に各チームの活動に参画されることが望まれます。皆様のご協力をお願いします。</p> <p>濱口燦燦会会長のコメント(Zoom会議より)： 燦燦会というのは色々なものをきっちり決めるというよりも、祭りの神輿を担ぐときちょっと休みたいというときはどうぞどうぞという会です。今までは副会長の鈴木顕さんと一緒にやってきましたが今回は畔柳さんにバトンタッチされました。</p> <p>設立当初からお世話になった江澤さん、糺さん、村上さん、相良さん、岩岡さんや谷道さんにもいつも助けて頂いたことに感謝をささげたい。しかし、今回をもって有難うございましたというわけではありません。今後とも燦燦会にご助力頂くようお願いいたします。</p>		
監事	飯塚忠一	66 外独			
会計	後藤洋	68 理物			
	坪井文夫	66 法法			
会員管理	小川元(兼務)	67 外露			
	相川美子	67 外独			
イベント	宇多寛而	67 外西			
	江藤美也子	67 外西			
渉外	池尾茂	66 理機			
	佐藤洋子	70 外英			
広報	石川雅弥(兼務)	65 外英			
	関谷裕之	68 外露			
記録	石川雅弥(兼務)	65 外英			
	鈴木眞(兼務)	66 理電			
ケータリング	村田龍美	66 文独			
	阿保小枝子	66 文史			
会員募集	小川元(兼務)	67 外露			
	柴田ひさ	69 外露			

2020年度 金祝勉学奨励金が10名に支給されました

金祝勉学奨励金は、「留学生への支援」をテーマとして活動している上智大学金祝燦燦会からの寄付により2013年度に設立された奨学金で、留学生への修学支援を目的とするものです。

2013年度～2017年度は、上智大学アジア留学生奨学金の採用者5名に対し、本奨学金(5万円/人)を追加で支給し、18年度はこの5名と、別枠として選定した3名の計8名に支給しました。2019年度からは、金祝燦燦会の意向により、アジア留学生奨学金とは別に選考を行なって8名に支給をし、2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、燦燦会の意向に基づき採用者を10名に拡大しました。

勉学奨励金の対象者は、学業成績が優秀かつ経済的支援が必要と認められ、将来国際社会に寄与すると思われる私費外国人留学生です。2019年度は少数受入国出身者のみを対象にしましたが、2020年度は中国・韓国なども対象とし、なるべく多様な国から学生を選ぶこととしました。今年はコロナ問題の影響で会員揃っての総会ができなかったため、異例の文書による決済がなされ、下記の10名に授賞が決まりました。(上智大学学生センター 2020年度金祝燦燦会勉学奨励金採用者リスト)

	課程	学部 / 研究科	学科 / 専攻	学生氏名	学生氏名カナ	性別	国籍
1	学部	国際教養学部	国際教養学科	JUNG HO JUNE	チョン ホジュン	男	大韓民国
2	博士前期課程	地球環境学研究科	地球環境学専攻	PRISSILLA ANG-GIADITA	プリシラ アンギアヂタ	女	インドネシア共和国
3	博士前期課程	グローバル・スタディーズ研究科	グローバル社会専攻	PANGILINAN LORENZO LLORENTE	パニリーナン ロレンゾ ロレンテ	男	フィリピン共和国
4	博士前期課程	地球環境学研究科	地球環境学専攻	BAKARE RASHEED OLU-WAFEMI	バカレ ラシードオルワフェミ	男	ナイジェリア連邦共和国
5	博士前期課程	理工学研究科	理工学専攻	DZIUBINSKI KIANA ISSAMAR	デビンスキー キアナ イッサマー	女	アメリカ合衆国
6	博士前期課程	地球環境学研究科	地球環境学専攻	AWA JOEL	アワ ジョエル	男	カメルーン共和国
7	博士前期課程	理工学研究科	理工学専攻	CHICK CHRISTIAN NANGA	チック クリスチャン ナンガ	男	カメルーン共和国
8	博士後期課程	地球環境学研究科	地球環境学専攻	ADU ISAAC KWAKU	アデュ アイザック クワク	男	ガーナ共和国
9	博士後期課程	総合人間科学研究科	心理学専攻	WANG XIAOSHUANG	オウ ショウソウ	女	中華人民共和国
10	博士後期課程	理工学研究科	理工学専攻	SEILER ELISA-BETH RADA DE-SIDERIA	ザイラ エリザベスラダ デシデリヤ	女	ドイツ連邦共和国

多くの奨励金受賞留学生から感謝が寄せられています

奨励金を受賞した留学生からの礼状を一部紹介します。

チョン ホジュン（学部、韓国）

この奨励金を生活費の一部に使うのと、研究分野と言語の新しい本を夏休みに買うのに充てます。

プリシラ アンギラジタ（博士課程、インドネシア）

貯蓄して生活費の一助と次学期の学費に充てたいと考え、経済負担を軽減するのに大いに役立ちます。

ラシード バカレ（博士課程、ナイジェリア）

コロナ感染期の経済的制約の一部を解消でき、自分の研究に一層集中することができます。

キアナ デビンスキー（博士課程、米国）

本奨学金は研究費と生活費として使わせて頂き、ご支援に恥じぬよう更なる技術開発に取り組みます。

アワ ジョエル（博士課程、カメルーン）

パンデミックで経済が苦しくなった折だったので、この奨学金は研究維持のため大いに助けになります。

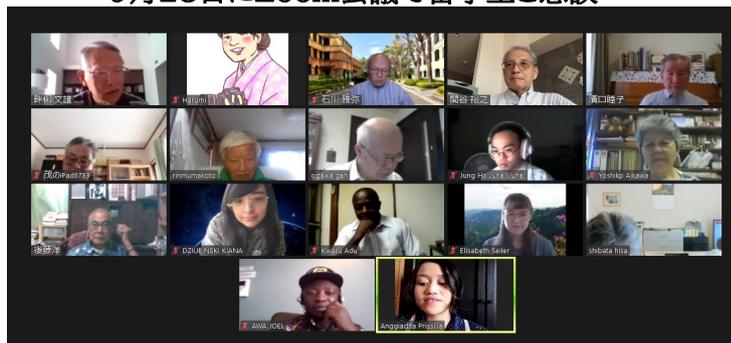
オウ ショウソウ（博士課程、中国）

有難く頂いた奨学金は臨床研修会や心理師試験のために使わせて頂きます

エリザベス ザイラ（博士課程、ドイツ）

日本で研究生活を送る上で唯一の課題である厳しい経済環境ですが、ご支援で勉学に専念することができます。

9月28日にZoom会議で留学生と懇談



金祝奨励金受賞者と燦燦会員は、2020年9月28日にZoomによる懇談会を行ないました。リモート出席したのは、留学生からは受賞者10名中6名に上り、燦燦会からは濱口会長はじめ11名で、約45分間にわたって活発な会話が交されました。

留学生の参加地域は韓国、インドネシア、ナイジェリア、カメルーン、ドイツ、米国で、実際に参加してきた国はコロナ問題の影響で米国など複数国にわたりました。懇談では奨励金受賞への感謝の言葉だけでなく、将来の前向きな抱負が語られ、終始明るい雰囲気の中で日本語、英語の会話が活発に行われました。

第8回俳句コンテスト表彰式(2019秋冬)を開催しました

今回の俳句コンテストは2019年11月初めから12月15日の間に応募期間を定めました。その結果9か国(インドネシア、中国、ナイジェリア、米国、日本、韓国、イギリス、東チモール、パキスタン)から27名80句(内訳は日本語17句、英語63句)の応募がありました。

1月14日に行われた受賞者発表と表彰式では、燦燦会濱口会長より受賞者に対する表彰と賞金を手渡されました。また受賞者自身による句の読み上げがありました。

日本語の最優秀作はオダ モモカ(日本)さん、優秀作はシミズリサ(日本)さん、佳作はチンカゴウ(中国)さんとヤンカイイン(中国)さんでした。一方、英語の最優秀作はサンジャヤ アルビン(インドネシア)さん、優秀作はマニエル バロビロドネス(スペイン)さんとイサベル ルース ハーキンス(英国)さん、佳作はエリクソン ケイリン(米国)さん、タカハシタダス(日本)さんとウィリアムズ エミリー レイカ(米国)さんが獲得しました。



<新入会員募集の呼び掛け>

1970年卒の皆様が対象です。例年ですと、その年の金祝実行委員会のご協力を得ながら入会をお願いしていますが、今年は祝典も開催されず、ハイライトの祝賀会もなく、70年卒の皆様に燦燦会への入会をお願いする機会がありませんでした。そこで、ソフィア会のご協力を得て、ソフィア会のホームページや、42000超配信されている「ソフィア会メールニュース」を通じて入会をお願いをしました。もちろん、燦燦会の役員が直接後輩に入会をお願いしていますが、祝賀会も開催されない状況では皆さん実感がわかないらしく、実績は例年の2割程度となっています。

お近くに、70年卒の後輩がおられましたら、是非、入会の声掛けをお願いします。

<会則が改定されました>

金祝燦燦会を「若返り」するには会則の見直しが必須だということで、4月に開催された書面総会で会則の改訂が承認されました。その内容は次の通りです。

- 1) 燦燦会の英文名を「Sophia Goldenagers' Club」とします。Goldenagers(ゴールデンエージャー)は造語で、ティーンエージャーになって我々の年代層を表すものです。カーリー先生からも「"Goldenagers' Club" has a nice sound to it」と賛同していただいています。(第1条)
- 2) 役員だけでなく、総会、定例の運営会議や行事等に多くの会員の方に積極的に参加していただくことを明記しました。(第4条)
- 3) 事務局長のポジションを設け実務全般を見ていただき、監事には会計に加え業務監査をお願いすることにしました。また、会計、会員管理、イベント、渉外、広報、記録、ケータリング、会員募集の8つのチームが燦燦会の事業達成の実務にあたることを明記しました。(第6条)
- 4) 会長、副会長、事務局長をはじめ「役員等」の選出基準を明確にしました。また、会長が、必要に応じ、会長、副会長および事務局長の「代理」を指名できるようにしました。(第8条)
- 5) 会長をはじめ、役員任期を会計年度とは異なり、6月30日終了としました。(第9条)

<マニュアルの作成について>

新しい陣容で燦燦会の業務を遂行するにはマニュアルが不可欠ということで、従来の業務を文書化し、27頁からなる「業務ハンドブック」を作成しました。会長、副会長、事務局長、監事の業務内容に加え、実務にあたる8つのチームの業務内容を明文化しました。今後、さらに実際の作業を通じて修正を加えることにしています。

<10年史編纂プロジェクトについて>

2022年3月の発行を目指して、「記録チーム」に10年史編纂プロジェクトが組織されました。すでに、過去の資料の収集や、これからのイベント等に対する対応等を決めましたが、年内を目標に改めて10年史発行の目的や編集方針について明確にする予定です。

金祝燦燦会への入会手続き:

- 会費は終身会費1万円です
 - 下記金祝燦燦会メールアドレス宛に
住所、氏名、卒年、学部、学科、電話番号をご連絡下さい
 - 折り返し会費の振込先ゆうちょ銀行口座をご連絡します
- 上智大学金祝燦燦会 〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1
上智大学ソフィア会事務局気付 Tel: 03-3238-3041
✉: sansankai@sophiakai.gr.jp

<九州豪雨災害へお見舞い>

熊本、鹿児島両県を中心とした豪雨災害の被災者に対して、濱口会長名で11名の九州在住の会員にお見舞いのハガキやメールを送りました。皆さんご無事との連絡を受け、安心しました。

編集後記

「燦燦ニューズレター第3号」をお届けします。燦燦会役員若返りの必要性の提案を受け、コロナ禍の中、会則改訂、書面総会、執行部役員互選等を経て新しい体制が発表されました。一人ひとり役員がそれなりの事情を抱えた上での就任です。それを理解し皆で支えあうという燦燦会にふさわしい強固な体制が確立しました。(MI)